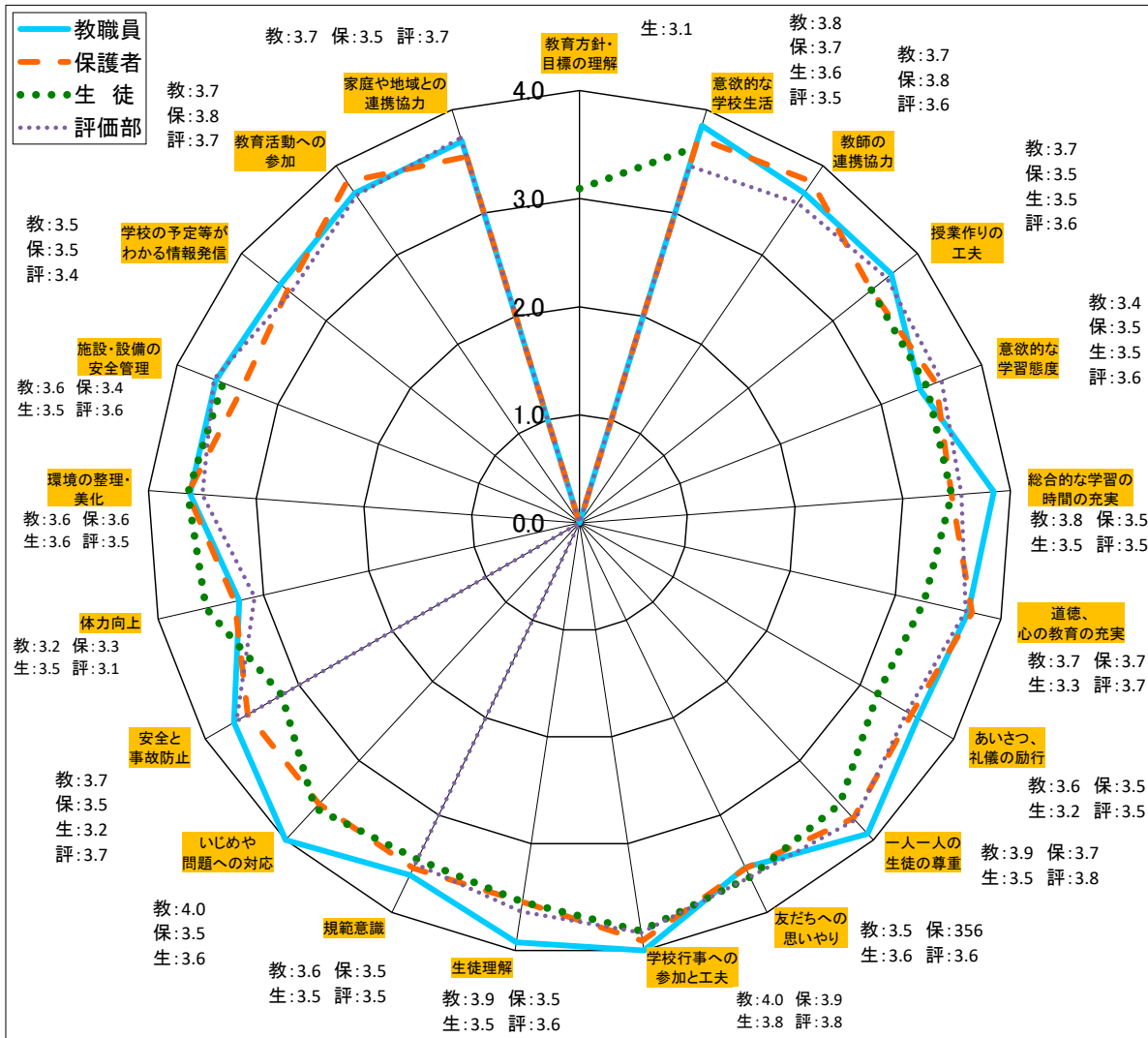


令和5年度 学校評価のためのアンケート結果

令和5年12月実施 八代市立二見中学校



グラフについて

- ・集計結果を点数化して、その値(平均値)を項目の値とする。(中央値2.5)
- ・点数化の方法
「4」の評価者数×4
+「3」の評価者数×3
+「2」の評価者数×2
+「1」の評価者数×1
÷全評価者数

・すべての項目、すべての対象者において評価「3」を超えており、概ね良好な結果である。

・教職員と保護者及び生徒の認識の違い(ギャップ)が見られる項目がある。その中で教職員より保護者及び生徒の評価が低かった上位の項目は次のとおりである。
今後、対策を検討したい。()の数値はポイント差

《教職員と保護者》

- ⑭ いじめや問題への対応(▲0.5pt) R4比0.2改善
- ⑰ 生徒理解(▲0.4pt) R4比0.1改善
- ⑥ 総合的な学習の充実(▲0.3pt)

《教職員と生徒》

- ⑮ 安全と事故防止(▲0.5pt)
- ⑦ 道徳・心の教育の充実(▲0.4pt)
- ⑧ あいさつ礼儀の励行(▲0.4pt)
- ⑨ 一人一人の尊重(▲0.4pt)
- ⑰ 生徒理解(▲0.4pt) R4比0.1改善
- ⑭ いじめや問題への対応(▲0.4pt) R4比0.1改善

【考察】

・「いじめや問題への対応」「生徒理解」が生徒・保護者ともに教職員との認識に開きが0.4pt程度ある。教職員間での情報共有と迅速な対応に昨年以上に努めていることもあり問題の未然防止・事後の対応等適切に行った結果、教職員のptは上昇している。一方、生徒・保護者の評価も昨年度よりもptそのものは高い評価となっており、今後も満足度が高まる取組を継続していく必要がある。

・「あいさつ礼儀の励行」は学校外ではできていないという生徒の自己評価からpt差がでていると考えられる。

- C S 役員の意見
- ・子供と先生たちの信頼感がすばらしいと思います。
 - ・地域の行事にも参加していただき、地域の方々も子供たちの姿を見ると「元規が出る!!」と嬉しい言葉を聞きます。私も同感です。
 - ・たまにしか学校には伺えませんが、先生方にお会いした時にあまり覇気が感じられない気がします。相手したいのかわかりませんが、取り繕うのではなく、内面から出てくるやる気みたいなものがどうも感じられない気がします。
 - ・学校に行く機会も少なく、申し訳なく思っています。少ない人数でやりやすい面、やりにくい面、様々あると思いますが、今後も二見の子供たちの事、よろしく願います。
 - ・すべての設問について評価することは、少しきびしいと思いますが、学校における学習その他すべてに高い評価であると思います。※先生方の頑張りをすごく感じます。